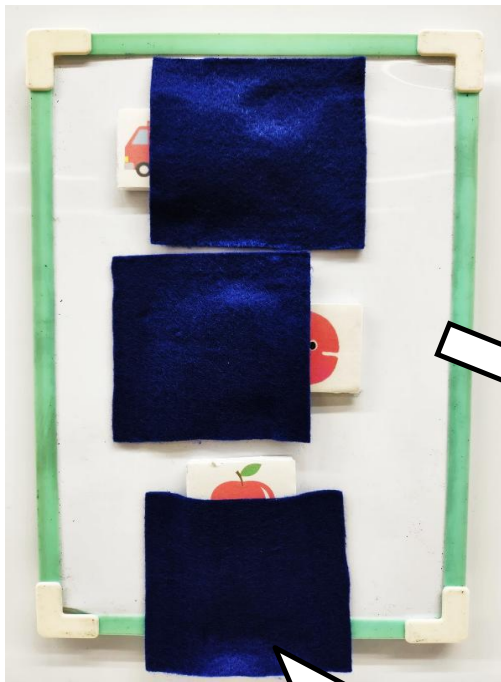


学部	教科名	教材名
知的障害教育部門 小学部	算数	隠れている物を見つけて、 あるべきところへ返す



習得状況に応じて
扱う題材を増やしたり
変えたりする。



児童・生徒の実態に応じて
全て隠したり一部見せたり
提示の仕方を変える。

ねらい

- ・(前回の単元と同様に)隠れている物を見付けることができる。(物の永続性)
- ・見つけた物があるべきところへ返したり、カテゴリーに分類したりすることができる。

使用方法

- ・隠れている物を見つけて、それらがあるべきところへ返す。
(例: 金魚→金魚鉢。
リンゴ→男の子が食べる。
消防車→火事の家。)

工夫した点

- ・前回の単元「隠れている物を見付けよう」より、隠れている物を見つけて、見つけて終わりではなく、見つけた物を元の場所に戻す(戻す)という物の因果関係やカテゴリーの分類などの学習に繋げた。